

# 「聞こえのバリアフリー」 「補聴器購入」に 北海道の支援を

アンケートに  
ご協力ください

**日本共産党**  
北海道議会議員団  
道政アンケート

日本共産党道議団は、  
北海道による補聴器購入助成制度の実現を  
めざしています。

## あなたの声を聴かせてください

「早期からの補聴器使用は日常生活の質の向上を図るうえで有効」「適切な補聴器の使用は認知症の発症を軽減させる可能性がある」と言われています。道は日本共産党道議団の質問に「加齢による難聴の方々への取り組み状況を把握する」と答えました。  
「聞こえ」に関するあなたの声を聴かせてください。

## 北海道独自の助成制度を

国の補聴器助成は、障害者手帳を受給した方に限られ、圧倒的多くの方は助成がなく、数十万円の購入費用がかかることもあり、「困っている」という声があります。しかし、北海道では「聞こえ」に関する施策はありません。兵庫県では、都道府県で初めて独自の補聴器購入助成制度をはじめました。道内でも、根室市や北見市などの市町村が独自の補聴器助成制度を実施しています。北海道でも、さらに制度を広げることが可能です。

発行：日本共産党北海道議会議員団  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西6丁目  
TEL 011-204-5915 FAX 011-232-4763  
mail: info@jcp-do.com HP: https://jcp-do.com  
真下紀子(旭川市) 菊地葉子(小樽市) 宮川潤(札幌市東区)

キリトリ

料金受取人私郵便

札幌中央局  
承認

1630

差出有効期限  
2022年12月  
31日まで  
●切手不要

郵便はがき

0608788  
113

札幌市中央区北2条西6丁目  
北海道議会 気付  
日本共産党北海道議会議員団 行



よろしければお名前、住所、電話番号の  
ご記載をお願いします。

お名前

ご住所

お電話番号

# ＝ 補聴器・聞こえのアンケート ＝

左下（ハガキ裏面）の回答スペースに ○をつけてお答えください

**Q1** ご自身やご家族、身近な方で  
耳の遠い方・難聴の方はいますか。  
①いる ②いない

**Q2** Q1で「いる」と答えた方にお聞きます。  
(1) その方は補聴器を使っていますか。  
①いる ②いない  
(2) その方の年齢は何歳ですか。  
①65歳未満 ②65歳～74歳 ③75歳以上

**Q3** ご自身やご家族が補聴器を購入したことのある方にお伺いします。  
(1) 誰から購入を勧められましたか。  
①耳鼻科医 ②補聴器店 ③ご自身の判断  
④その他  
(2) どこで購入しましたか。  
①病院 ②補聴器店 ③インターネット  
④通販 ⑤その他  
(3) 調整は何回程度行いましたか。  
①1回 ②2回 ③3回 ④4回  
⑤5回以上 ⑥していない  
(4) 購入金額はどのくらいでしたか。  
①10万円以下  
②10万円～30万円  
③30万円～50万円  
④50万円以上

**Q4** ご自身やご家族が、補聴器を購入しなかった方  
にお伺いします。（複数回答可）  
(1) 購入しなかった理由はなんですか。  
①価格が高い  
②購入した人からいい話を聞かない  
③必要ないと思った  
④見た目が気になる  
⑤その他  
(2) 購入しようと思うきっかけになるものはなん  
ですか。  
①日常生活に不便が出たら  
②さらに聴力が落ちたら  
③価格が安くなったら  
④購入費助成制度が出来たら  
⑤身近な相談・アフターケアの充実があれば  
⑥その他

「該当する番号に○をつけてご回答ください

Q1 ① ②  
Q2 (1) ① ②  
(2) ① ② ③  
Q3 (1) ① ② ③ ④ ( )  
(2) ① ② ③ ④ ⑤ ( )  
(3) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥  
(4) ① ② ③ ④  
Q4 (1) ① ② ③ ④ ⑤ ( )  
(2) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ( )

ご意見等をご自由にお書き下さい

以下のいずれかで回答をお願いします

→返信用ハガキ

→FAX 011-232-4763

→アンケートサイト

[https://jcp-do.com/wp/?page\\_id=5184](https://jcp-do.com/wp/?page_id=5184)



アンケートへのご協力ありがとうございました。